

奥井復太郎 おくい へつたろう 社會學者、經濟學博士。明治二十年十一月（二十一）  
日東京下谷生れ。昭和四十年（一九六五）一月十六日歿（八七—一九六五）。大正九年  
慶應義塾大卒。都市研究史上劃期的著作として知られる『現代大都市論』  
（昭和十五年刊）の他、『國土計画論』（昭和十五年刊）、『都市計  
畫』（昭和二十二年刊）等も著す。慶大經濟學部教授と務め、昭和  
二十八年日本都市學會を創設してその死去まで會長、二十一年には慶  
大校長に選ばれた。

遺稿集『新旧抄』（昭和四十七年六月（一九七二）奥井会）、歿後十年  
『都市の精神—生活論的分析』（昭和五十年一月（一九六五）日本放送出版  
協会）出版。

